

鯉のぼりと登竜門

校長 香山 和昭

5月、新緑のまぶしいさわやかな季節となりました。平成が終わり、令和の時代がスタートしました。歴史の転換点ともいえる大きな時代の変化を皆さんも感じていることと思います。

さて、始業式からひと月が経ちました。10連休も終わり、今の時期は少し疲れが出やすい頃かもしれません。「五月病」という言葉があります。新しい環境に適応できずに焦ったり、ストレスを感じる状態を言いますが、特に1年生や4月に転入してきた皆さんは、大丈夫でしょうか？緊張感も解け、みんな順調に頑張っているのに、それに比べて自分は・・・と考えてしまうことはないでしょうか。環境が変わると前のやり方では通用しなくなることがあります。しかし、ピンチはチャンスです。ここが成長する大事な「節目」です。自分が変わらなければならない試練の中でこそ、成長のチャンスが訪れます。巨匠ルキノ・ヴィスコンティの映画『山猫』のクライマックスで、「変わらないで生き残るためには、変わらなければならない。」という有名な言葉がありますが、「自分らしさを失わず、生きていくためにはむしろ新しいことに挑戦し、自分を変えていかなければならない。」という意味だと理解しています。時代は、平成から令和へ。世の中も大きく変わろうとしています。皆さんもこの変化の中で大きく成長してほしいと思います。

ところで、5月といえば、こどもの健やかな成長や成功を願ってあげられる「鯉のぼり」の時期です。その由来は中国の故事、「黄河の上流の竜門という激流をのぼりきった鯉は竜になれる。(登竜門)」といわれています。「登竜門」とは、これから自分が進もうとする道に立ちはだかる難関の意味として使われ、ここを乗り越れば道が開け、さらに前に進むことができる。とされています。まさに、難関にチャレンジすることができた者だけに、大きく成長する機会が訪れるのです。今月は中間テスト、学校総合体育大会、体育祭（6月1日）が控えています。勉強はもちろん部活動、学校行事、クラス、生徒会、委員会活動など活躍の場を生かして、想像もしていなかった程成長した「全く新しい自分」に変われるよう激流に挑んでいきましょう！

